

令和 6 年名古屋市外国人住民統計【概要版】

令和 6 年 12 月末の名古屋市内に住民登録をしている外国人住民数は 100,246 人（過去最多更新、初の 10 万人突破）で、前年末に比べ、7,737 人（8.4%）増加。

1 外国人住民数（第 1 表、第 1 表の 2、第 1 表の 3）

- ・令和 6 年末現在における名古屋市の外国人住民数は 100,246 人で、前年末に比べ、7,737 人（8.4%）増加しました。市内人口に占める外国人住民の割合は 4.30%でした（前年末に比べ 0.33 ポイント増加）。
- ・男女別では、女性が 51,652 人（構成比 51.5%）、男性が 48,594 人（同 48.5%）となり、それぞれ増加しました。
- ・年齢別では、20 代が 30,521 人（構成比 30.4%）と最も多く、次いで 30 代 20,712 人（同 20.7%）となっています。各年代で前年末より増加しており、特に 20 代は 3,606 人（対前年末比 13.4%）増加しました。

2 在留カード等上の国籍・地域別（第 1 表、第 1 図）

- ・在留カード及び特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）上に表記された国籍・地域の数（無国籍を除く）は、昨年の 153 から 150 に減少しました。
- ・国籍・地域別では、中国が 24,596 人と最も多く、以下韓国・朝鮮 14,377 人、ベトナム 13,311 人、ネパール 11,927 人、フィリピン 10,765 人と続いています。
- ・増加が顕著な国籍・地域としては、ネパールが対前年末比 2,116 人（21.6%）増、ベトナムが同 1,478 人（12.5%）増、ミャンマーが同 1,027 人（63.4%）増となっています。

3 在留資格等別（第 2 表、第 2 表の 2、第 2 図）

- ・外国人住民の在留資格等別では、「永住者」が 28,984 人（対前年末比 1,439 人（5.2%）増）と最も多く、次いで「専門的・技術的分野」の在留資格が 18,384 人（対前年末比 3,157 人（20.7%）増）、「留学」が 12,779 人（対前年末比 1,305 人（11.4%）増）、「特別永住者」が 10,699 人（対前年末比 353 人（3.2%）減）と続いています。また、「専門的・技術的分野」の内の「特定技能」は 5,011 人（対前年末比 1,550 人（44.8%）増）、「家族滞在」が 9,018 人（対前年比 939 人（11.6%）増）、「技能実習」は 6,845 人（対前年末比 637 人（10.3%）増）、と大きく増加しています。
- ・「留学」を国籍・地域別でみると、ネパールが 4,997 人と最も多く、次いで中国 2,581 人、ベトナム 1,150 人と続いています。上位 3 国が「留学」に占める割合は 68.3%でした。
- ・「留学」における国籍別推移は、ネパールが対前年末比 775 人（18.4%）増、中国は対前年末比 19 人（0.7%）減となりました。ベトナムは全体では増加していますが、留学は減少が続いており、80 人（6.5%）減でした。他に増加が顕著な国籍・地域としては、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュが挙げられます。

4 居住区別（第3表、第3図）

- ・外国人住民が最も多いのは港区で 11,375 人となっており、以下中区 10,775 人、中川区 9,228 人、中村区 7,929 人、南区 7,516 人と続いています。
- ・すべての区で外国人住民数が増加しました。前年末からの増加数は、中村区が 1,238 人(18.5%)と最も大きく、以下中区 939 人(9.5%)、中川区 866 人(10.4%)、港区 745 人(7.0%)と続いています。

5 主な国籍・地域別の在留資格の特徴

- ・本市の外国人住民数は、過去最多、初の 10 万人台となる 100,246 人となりました。(第1表)
- ・在留資格別の状況は前述の「3 在留資格等別」にも記載がありますが、国籍・地域別の特徴は以下のようになっています。

【第1表記載の国籍・地域における在留資格の割合】(第4表①～⑩)

- ・中国・・・「永住者 56%」「専門的・技術的分野 13%」「留学 10%」
- ・韓国・朝鮮・・・「特別永住者 73%」「永住者 13%」
- ・ベトナム・・・「技能実習 23%」「専門的・技術的分野 22%」「特定技能 18%」「家族滞在 15%」
- ・ネパール・・・「留学 41%」「家族滞在 24%」「専門的・技術的分野 22%」
- ・フィリピン・・・「永住者 44%」「定住者 25%」「日本人配偶者 11%」
- ・ブラジル・・・「永住者 62%」「定住者 26%」
- ・インドネシア・・・「技能実習 43%」「特定技能 20%」
- ・ミャンマー・・・「留学 27%」「技能実習 20%」「特定技能 18%」「専門的・技術的分野 13%」
- ・スリランカ・・・「留学 45%」「専門的・技術的分野 19%」「家族滞在 18%」
- ・米国・・・「専門的・技術的分野 35%」「永住者 25%」「日本人配偶者 14%」「家族滞在 13%」

※各国籍・地域別で 10%（小数点以下切り捨て）を超える在留資格を記載。「専門的・技術的分野」に「特定技能」を含めずに割合を算出。

6 【トピック】10 年前(平成 26 年末)との外国人住民統計比較

- ・10 年前(平成 26 年末)と現在(令和 6 年末)を、いくつかの項目で比較しました。

(1) 年代別・男女別の比較【第5図】

20 代の人数が最も大きく増加しており、次いで 30 代が増加しています。

(2) 国籍・地域における年代別人口の比較【第6図】

分布には大きな変化がない国がある一方、ベトナム、ネパール、インドネシア、ミャンマー及びスリランカでは 20 代を中心とした若い方の増加が特に多くなっており、国ごとに特徴が表れています。

※在留資格の詳細につきましては、出入国在留管理庁のウェブサイトをご確認ください。

https://www.moj.go.jp/isa/policies/ssw/nyuukokukanri01_00127.html

名古屋市外国人住民統計の詳細は、名古屋市公式ウェブサイトで公開しています。

統計データを Excel 形式でダウンロードできます。

<https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000080856.html>

【第 1 表】国籍・地域別外国人住民数の推移（上位 10 位）

国籍・地域	令和 2 年 末(人)	令和 3 年 末(人)	令和 4 年 末(人)	令和 5 年 末(人)	令和 6 年 末(人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
中国	23,469	22,236	22,867	23,810	24,596	786	3.3%
韓国・朝鮮	15,789	15,301	14,984	14,651	14,377	▲ 274	▲ 1.9%
ベトナム	10,650	10,022	10,543	11,833	13,311	1,478	12.5%
ネパール	6,312	5,333	8,261	9,811	11,927	2,116	21.6%
フィリピン	9,507	9,377	9,737	10,273	10,765	492	4.8%
ブラジル	4,638	4,190	4,190	4,234	4,185	▲ 49	▲ 1.2%
インドネシア	1,133	1,029	1,518	2,263	3,070	807	35.7%
ミャンマー	758	763	1,148	1,619	2,646	1,027	63.4%
スリランカ	1,016	944	1,471	1,858	2,373	515	27.7%
米国	1,314	1,150	1,284	1,354	1,466	112	8.3%
その他	9,432	8,725	10,117	10,803	11,530	727	6.7%
計	84,018	79,070	86,120	92,509	100,246	7,737	8.4%

○国籍・地域：在留カード又は特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）の国籍・地域欄の表記（注 1 及び注 2）である。

（注 1）「韓国」、「朝鮮」：朝鮮半島出身者及びその子孫等で、韓国籍を始めいずれかの国籍があることが確認されていない者は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「朝鮮」の表記がなされており、「朝鮮」は国籍を表示するものとして用いているものではない。在留カード等の「国籍・地域」欄に「韓国」の表記がなされている者を「韓国」に、「朝鮮」の表記がなされている者を「朝鮮」に計上している。

（注 2）「台湾」：台湾の権限ある機関が発行した旅券等を所持する者は、平成 24 年 7 月 8 日までは外国人登録証明書の「国籍等」欄に「中国」の表記がなされていたが、同年 7 月 9 日以降は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「台湾」の表記がなされており、「台湾」の表記がなされた在留カード等の交付を受けた者を「台湾」に計上している。

【第 1 表の 2】外国人住民の男女比（令和 6 年末）

	人数（人）	構成比
男性	48,594	48.5%
女性	51,652	51.5%
計	100,246	100.0%

【第 1 表の 3】年齢別外国人住民数（令和 6 年末）

単位：人

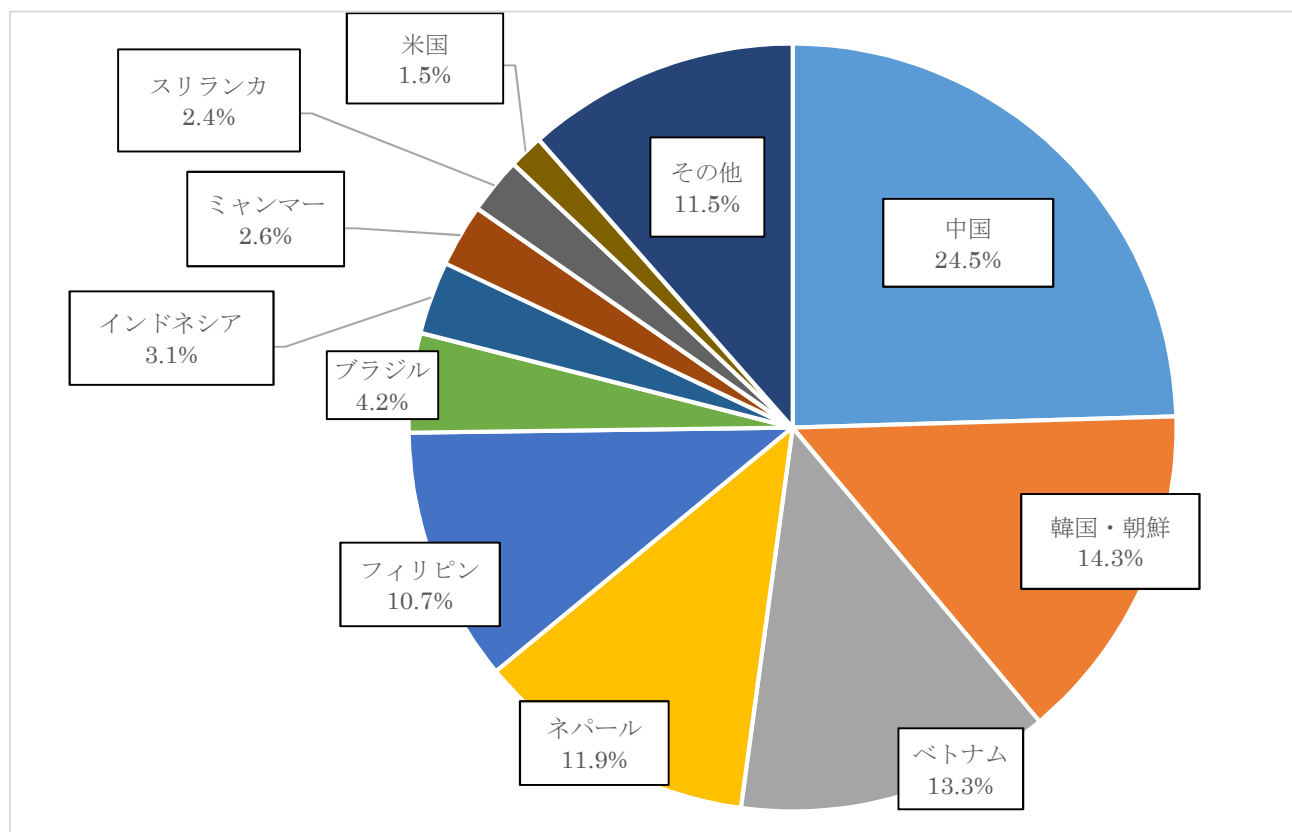
9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	計
6,815	6,749	30,521	20,712	13,825	10,386	6,270	3,141	1,827	100,246
6.8%	6.7%	30.4%	20.7%	13.8%	10.4%	6.3%	3.1%	1.8%	100%

（参考）年齢別外国人住民数（令和 5 年末）

単位：人

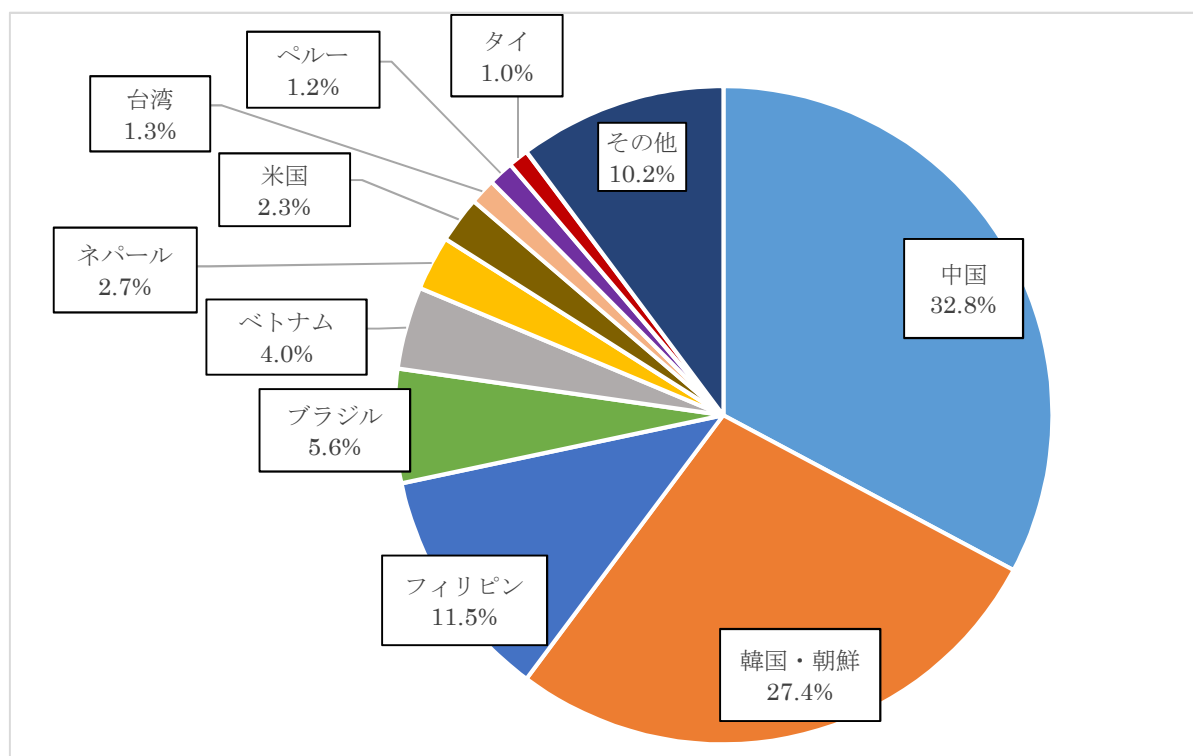
9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	計
6,412	6,127	26,915	19,022	13,078	10,228	5,903	3,061	1,763	92,509
6.9%	6.6%	29.1%	20.6%	14.1%	11.1%	6.4%	3.3%	1.9%	100%

【第 1 図】 国籍・地域別外国人住民構成比（令和 6 年末）



※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない。

（参考） 国籍・地域別外国人住民構成比（10 年前・平成 26 年末）



【第2表】在留資格等別外国人住民数の推移（上位10位及び特定技能）

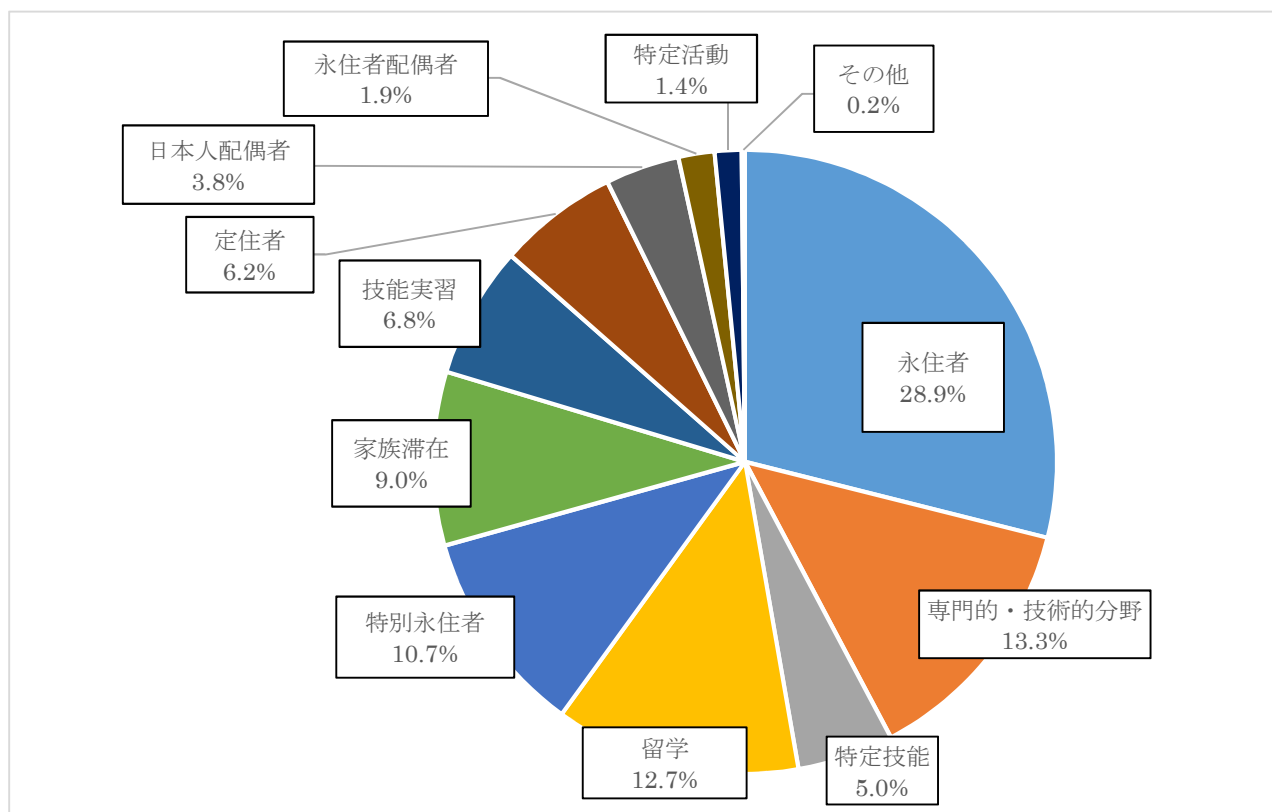
在留資格等	令和2年 末(人)	令和3年 末(人)	令和4年 末(人)	令和5年 末(人)	令和6年 末(人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
永住者	24,823	25,577	26,461	27,545	28,984	1,439	5.2%
専門的・技術 的分野 (特定技能)	10,244 (208)	10,020 (801)	12,160 (1,983)	15,227 (3,461)	18,384 (5,011)	3,157 (1,550)	20.7% (44.8%)
留学	10,659	7,246	11,151	11,474	12,779	1,305	11.4%
特別永住者	12,144	11,825	11,434	11,052	10,699	▲ 353	▲ 3.2%
家族滞在	6,658	6,154	7,070	8,079	9,018	939	11.6%
技能実習	5,888	4,069	4,954	6,208	6,845	637	10.3%
定住者	5,520	5,509	5,587	5,951	6,252	301	5.1%
日本人配偶者	4,105	3,811	3,795	3,863	3,850	▲ 13	▲ 0.3%
永住者配偶者	1,621	1,673	1,695	1,857	1,876	19	1.0%
特定活動	2,220	3,053	1,645	1,090	1,396	306	28.1%
その他	136	133	168	163	163	0	0.0%
計	84,018	79,070	86,120	92,509	100,246	7,737	8.4%

(注) 専門的・技術的分野の在留資格:教授、芸術、宗教、報道、高度専門職1号イ・ロ・ハ、高度専門職2号、経営・管理、投資・経営、法律・会計、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、技術、人文・国際、企業内転勤、興行、介護、技能、特定技能1号、特定技能2号

【第2表の2】「留学」における国籍別外国人住民数の推移（上位10位）

国籍・地域	令和2年 末(人)	令和3年 末(人)	令和4年 末(人)	令和5年 末(人)	令和6年 末(人)	前年差 (人)	対前年末 増減率
ネパール	3,219	1,837	3,963	4,222	4,997	775	18.4%
中国	2,542	2,147	2,650	2,600	2,581	▲ 19	▲ 0.7%
ベトナム	2,725	1,863	1,510	1,230	1,150	▲ 80	▲ 6.5%
スリランカ	388	231	640	819	1,071	252	30.8%
ミャンマー	129	94	167	375	734	359	95.7%
韓国	260	195	308	342	321	▲ 21	▲ 6.1%
バングラデシュ	122	97	157	201	289	88	43.8%
インドネシア	242	160	194	183	204	21	11.5%
台湾	124	78	148	166	169	3	1.8%
ウズベキスタン	138	105	185	191	149	▲ 42	▲ 22.0%
その他	770	439	1,229	1,145	1,114	▲ 31	▲ 2.7%
計	10,659	7,246	11,151	11,474	12,779	1,305	11.4%

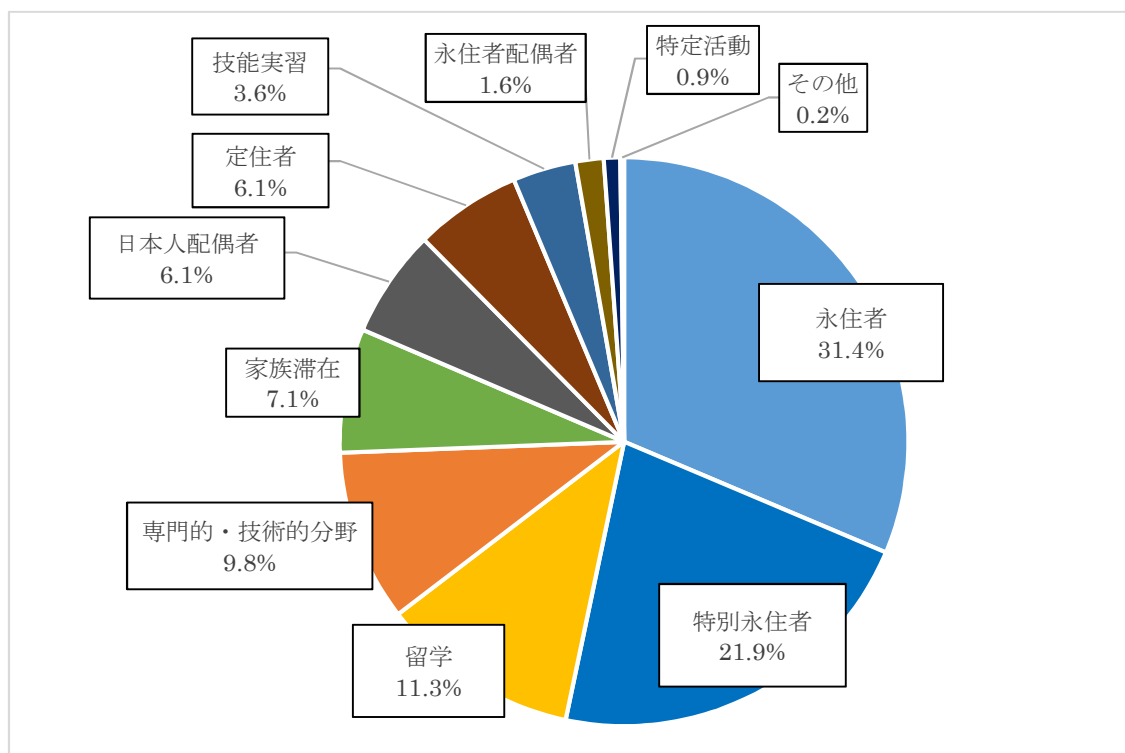
【第 2 図】在留資格等別外国人住民構成比（令和 6 年末）



※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない。

※「専門的・技術的分野」と「特定技能」は分けて表示。

（参考）在留資格等別外国人住民構成比（10 年前・平成 26 年末）

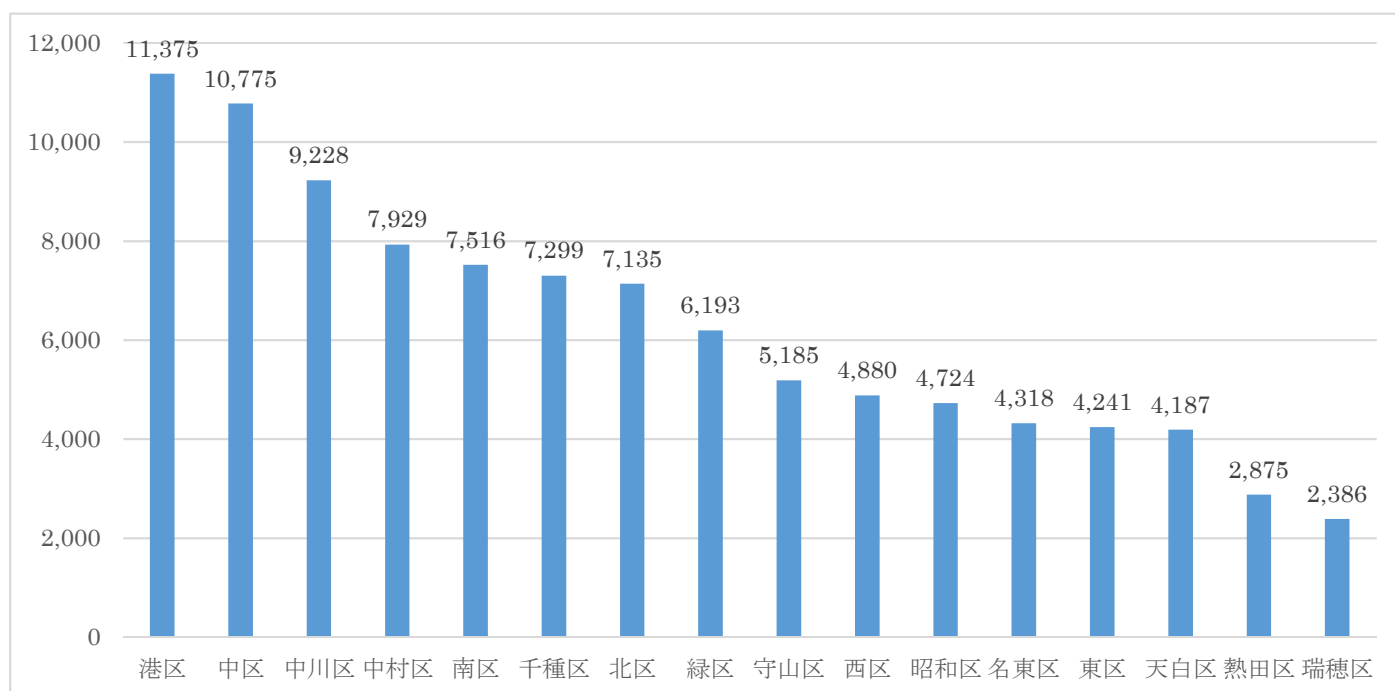


【第3表】居住区別外国人住民数（多い区順）

区	令和2年末(人)	令和3年末(人)	令和4年末(人)	令和5年末(人)	令和6年末(人)	前年差(人)	対前年末増減率
港区	9,409	9,069	9,806	10,630	11,375	745	7.0%
中区	9,351	8,296	9,130	9,836	10,775	939	9.5%
中川区	7,147	7,036	7,571	8,362	9,228	866	10.4%
中村区	5,875	5,306	6,128	6,691	7,929	1,238	18.5%
南区	6,551	6,119	6,596	7,146	7,516	370	5.2%
千種区	6,299	5,844	6,576	6,878	7,299	421	6.1%
北区	5,794	5,736	6,097	6,537	7,135	598	9.1%
緑区	5,514	5,391	5,667	5,950	6,193	243	4.1%
守山区	4,320	4,278	4,478	4,884	5,185	301	6.2%
西区	4,055	3,722	4,048	4,366	4,880	514	11.8%
昭和区	4,326	3,828	4,553	4,656	4,724	68	1.5%
名東区	3,723	3,554	3,874	4,117	4,318	201	4.9%
東区	3,710	3,380	3,656	3,842	4,241	399	10.4%
天白区	3,497	3,361	3,496	3,797	4,187	390	10.3%
熱田区	2,286	2,100	2,277	2,553	2,875	322	12.6%
瑞穂区	2,161	2,050	2,167	2,264	2,386	122	5.4%
計	84,018	79,070	86,120	92,509	100,246	7,737	8.4%

【第3図】居住区別外国人住民数（令和6年末）

単位：人



【第4表】主な国籍・地域における在留資格の割合（上位5種）

※本表では、「専門的・技術的分野」に「特定技能」は含めずに分けて記載。

①中国

	在留資格	人数	割合
1	永住者	13,800	56.1%
2	専門的・技術的分野	3,277	13.3%
3	留学	2,581	10.5%
4	家族滞在	1,669	6.8%
5	定住者	1,068	4.3%
	その他	2,201	8.9%
	計	24,596	

②韓国・朝鮮

	在留資格	人数	割合
1	特別永住者	10,628	73.9%
2	永住者	1,938	13.5%
3	専門的・技術的分野	634	4.4%
4	留学	321	2.2%
5	日本人配偶者	292	2.0%
	その他	564	3.9%
	計	14,377	

③ベトナム

	在留資格	人数	割合
1	技能実習	3,149	23.7%
2	専門的・技術的分野	3,037	22.8%
3	特定技能	2,503	18.8%
4	家族滞在	2,034	15.3%
5	留学	1,150	8.6%
	その他	1,438	10.8%
	計	13,311	

④ネパール

	在留資格	人数	割合
1	留学	4,997	41.9%
2	家族滞在	2,896	24.3%
3	専門的・技術的分野	2,667	22.4%
4	永住者	647	5.4%
5	特定技能	314	2.6%
	その他	406	3.4%
	計	11,927	

⑤フィリピン

	在留資格	人数	割合
1	永住者	4,738	44.0%
2	定住者	2,718	25.2%
3	日本人配偶者	1,242	11.5%
4	技能実習	603	5.6%
5	特定技能	504	4.7%
	その他	960	8.9%
	計	10,765	

⑥ブラジル

	在留資格	人数	割合
1	永住者	2,608	62.3%
2	定住者	1,124	26.9%
3	日本人配偶者	203	4.9%
4	永住者配偶者	180	4.3%
5	専門的・技術的分野	27	0.6%
	その他	43	1.0%
	計	4,185	

⑦インドネシア

	在留資格	人数	割合
1	技能実習	1,347	43.9%
2	特定技能	637	20.7%
3	専門的・技術的分野	268	8.7%
4	留学	204	6.6%
5	永住者	192	6.3%
	その他	422	13.7%
	計	3,070	

⑧ミャンマー

	在留資格	人数	割合
1	留学	734	27.7%
2	技能実習	533	20.1%
3	特定技能	476	18.0%
4	専門的・技術的分野	366	13.8%
5	特定活動	209	7.9%
	その他	328	12.4%
	計	2,646	

⑨スリランカ

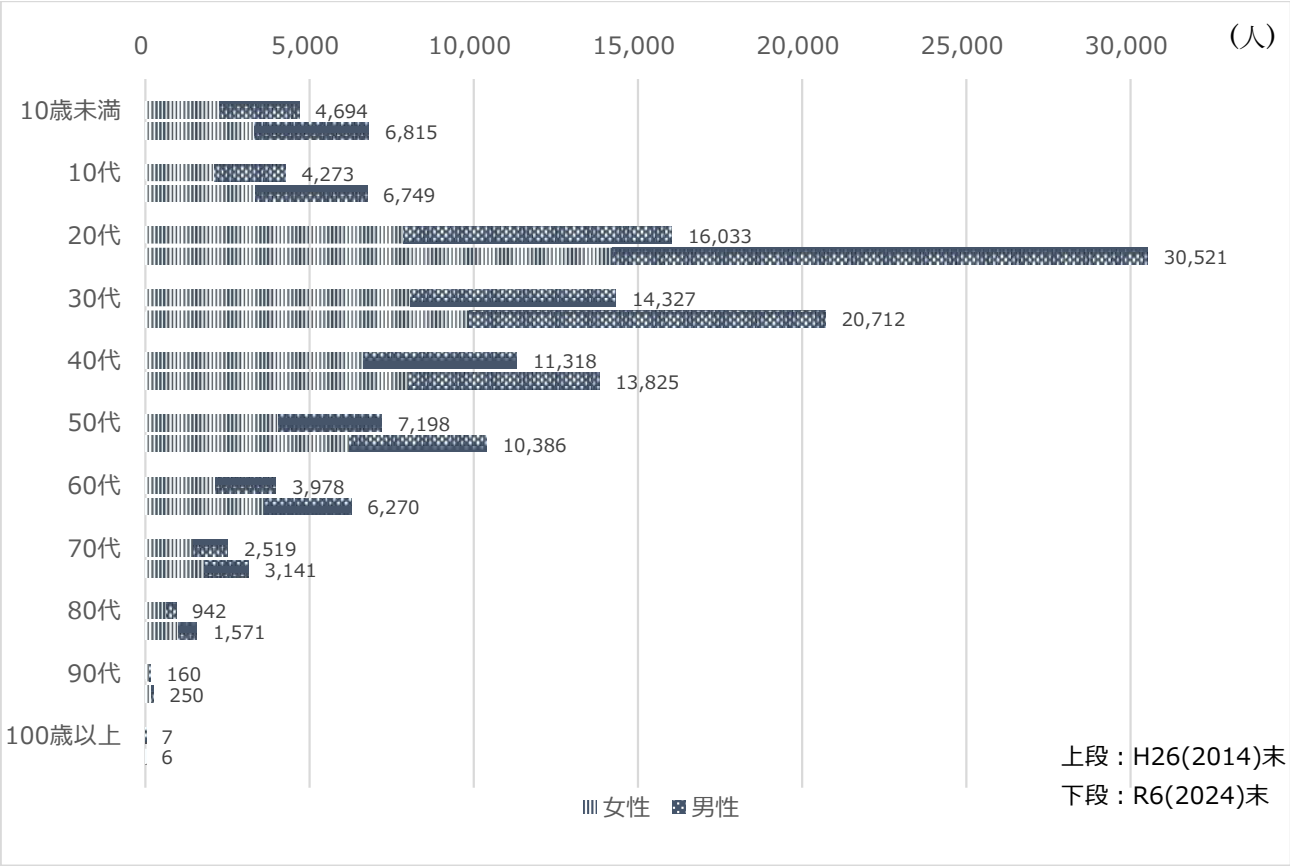
	在留資格	人数	割合
1	留学	1,071	45.1%
2	専門的・技術的分野	466	19.6%
3	家族滞在	428	18.0%
4	永住者	165	7.0%
5	特定技能	67	2.8%
	その他	176	7.4%
	計	2,373	

⑩米国

	在留資格	人数	割合
1	専門的・技術的分野	517	35.3%
2	永住者	376	25.6%
3	日本人配偶者	213	14.5%
4	家族滞在	197	13.4%
5	留学	101	6.9%
	その他	62	4.2%
	計	1,466	

(注) 本表における専門的・技術的分野の在留資格:教授、芸術、宗教、報道、高度専門職1号イ・ロ・ハ、高度専門職2号、経営・管理、投資・経営、法律・会計、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、技術、人文・国際、企業内転勤、興行、介護、技能

【第5図】年代別人口の比較



【第6図】主な国籍・地域における年代別人口の比較

